

第42回 公益社団法人 日本看護科学学会 学会総会 議事録

日 時 2022年12月3日(土) 17:15~18:05

場 所 広島国際会議場 フェニックスホール

出席者数 2,181名(会場出席120名、委任状2,061名)

議 長 森山美知子

I. 開 会

現正会員数10,215名中、総会に出席した正会員数は90名、有効委任状提出者2,061名、合計2,151名であり、日本看護科学学会定款第45条に定められた要件を満たしていることが確認され、第42回公益社団法人日本看護科学学会総会が開会された。

司会は法橋尚宏副理事長が、書記は丹佳子氏(山口県立大学)が行った。

II. 理事長挨拶

堀内成子理事長より、以下の挨拶があった。

第42回学術集会をこのように対面とオンラインでのハイブリッドで開催できることについてお礼申し上げたい。皆さんと対面でお会いするのは金沢以来である。第41回、第42回はオンラインでの開催となったが、この度、対面とハイブリッドで開催できたことは、学術集会会長の森山先生をはじめ多くの皆様方のご尽力によるものである。心より感謝申し上げたい。

新型コロナウイルス感染症に対応してきた時期は、私達看護職をはじめ医療従事者はとても大変な時期であった。現場の最前線で治療・看護にあたる方々、その方々をサポートする教育や行政関係者が力を合わせてこの困難を乗り越えてきたと思う。そのような中、教育と研究のあゆみを(多少変更や速度を落としたかもしれないが)継続なさってきた。その現れがこの学術集会における発表である。発表を聞く度に心が熱くなる。大きな学会であるが一人一人の会員の皆様の活動により看護学が発展していくのだということを実感している。会員の皆様の学会への協力に心より感謝申し上げたい。

本日の学会総会において、学会での事業を説明する。会員の皆様から忌憚のない御意見を頂戴したい。

III. 議長指名および議事録署名人の承認

定款第44条に従い、議長に第42回学術集会会長の森山美知子氏が指名された。また議事録署名人については、議長から寺本千恵氏(広島大学)、西村ユミ氏(東京都立大学)の2名が指名され、承認された。

IV. 報告事項

1. 理事長のビジョンと運営方針

堀内成子理事長より、会場に投影されたスライドに示された内容を基に以下の説明があった。

- (1) 若手研究者の育成
 - ①論文公表の場として増大：
 - ・和文・英文誌・初回査読の期間短縮、投稿数増加、迅速審査制度
 - ・その結果、和文・英文誌いずれも投稿数が増えている
 - ②研究の能力向上
 - ・大型研究費の獲得支援
 - ・ガイドライン作成・若手研究者支援全国ネットワーク
 - ・国際化の促進（学会発表助成・海外研究助成）
- (2) 研究活動の推進
 - ①研究助成制度の創設
 - ・2023年度から実施（現在、選考中）
 - 1) 挑戦的課題研究助成（申請28件）50万円/件
 - ・正会員（大学院生・ポストドクター）が対象
 - 2) 指定課題研究助成（申請15件）
 - ・100万円/件・正会員（除く大学院生・ポストドクター）
 - ②看護学用語集：JANSpedia
 - ③社会貢献の推進：将来の看護学研究者の発掘
 - ④新たな広報戦略：ジャンとスウ、JANSロゴの刷新
 - ⑤COVID-19関連研究の推進と対策
 - ⑥他学問分野の学会との連携 等
- (3) 将来を見据えた法人運営
 - ・会則の整備・財産管理の検討
 - ・事務局環境の改善（2022年7月に事務所を移転）
 - ・事務処理の効率化

2022年11月2日 内閣府公益認定等委員会立入調査があったが、判定は「問題なし」であった。すべて活動が活発に行われている。いずれも皆様のご協力があったて成り立っているものである。

【質疑応答】議長は質問を促したが、特に質問はなかった。

2.委員会のミッションと2023年度事業計画について

各委員会のミッションと2023年度事業計画がスライドで表示され、各委員会は会務分掌に基づき、継続して下記の活動を行っていく旨、中村幸代総務担当理事より説明があった。

- 和文誌編集委員会：日本看護科学会誌の編集・発行
（2020年度に実施の迅速査読制度と著者要件変更の評価、編集委員、査読委員の活動支援による投稿数の向上等）
- 英文誌編集委員会：Japan Journal of Nursing Scienceの編集・発行
（迅速査読の継続と査読体制の整備、インパクトファクターの向上等）
- 表彰論文選考委員会：表彰論文と学術集会演題の選考、公開、表彰を実施

(表彰機会の増加による論文投稿の向上 等)

- 研究・学術推進委員会：会員の看護学に関する各種研究の推進を支援
(大型研究費獲得のための支援の継続 セミナーの開催 等)
(ガイドライン作成グループによる草案やレビュー論文の公開 等)
- 若手研究者活動推進委員会：未来の看護学を創造・想像する土台を構築
(若手研究者ネットワークの活性化、セミナーの開催 等)
- 国際活動推進委員会：看護学の国際活動の推進
(国際学会での研究発表増加への支援、海外学術団体との交流 等)
- 看護学学術用語検討委員会：看護が扱う専門用語の概念的統一を図る
(電子システムJANSpediaによる看護用語公開、新たな用語の追加 等)
- 社会貢献委員会：看護学の研究活動を通して人々の健康と福祉に貢献
(学術集会での市民公開講座開催、次世代育成に向けた企画の推進 等)
- 広報委員会：看護学を広く発信し人々の健康と保健・医療・福祉に貢献
(ホームページの拡充とデジタル利用による新たな広報活動の充実 等)
- 看護倫理検討委員会：倫理的課題を整理し研究者モラルの向上を図る
(看護倫理の遵守、研究活動の不正防止に関する啓発活動の実施)
- 利益相反委員会：役員、委員、投稿者や発表者を対象にCOIを実施し評価を
実施(指針、細則、COI申告書の見直しを行う)
- 研究倫理審査委員会：看護研究の倫理的配慮がなされているか審査する
(申請による審査の実施、利益相反委員会との連携)
- 災害看護支援委員会：看護系学会との連携により災害時活動内容を検討
(研究課題に関する情報収集、支援に関する調査と論文公開 等)
- 若手研究者助成選考委員会：若手研究者への助成を実施
(若手研究者の国際学術集会への出席、海外留学)
- 会則等委員会：定款や規程類、申し合わせ事項等についての管理・運営を
実施(定款の改正の必要性や規則等見直しの必要性を検討)
- COVID-19看護研究等対策委員会:COVID-19状況下での研究活動の実践
を検討(「新型コロナウイルス感染症による日本看護科学学会会員の研究
活動への影響」第2回調査を行い、After-Withコロナ時代の方針を作成する)
- 総務委員会：会員管理と事務所管理を円滑に行う
- 研究助成選考委員会:会員の研究活動を経済面から支援
(2023年度新規事業)
 - 1) 正会員(大学院生・ポストドクター)が研究を行うための挑戦的課題、研究助成
 - 2) 正会員(除く大学院生・ポストドクター)が研究を行うための指定課題研究助成

【質疑応答】議長は質問を促したが、特に質問はなかった。

2. 2023年度予算について

スライドに示された収支予算書について、会計担当の石橋みゆき理事より説明があった。総収入と総支出の差異(収支差額)は△39,349,000円であり、社員総会で承認された旨、報告があった。

3. 名誉会員の就任報告

総務担当の中村幸代理事より、林優子氏と菱沼典子氏の名誉会員就任が報告され、併せて経歴が紹介された。

4. 第45回日本看護科学学会学術集会会長の就任報告

総務担当の中村幸代理事より、2025年開催の第45回日本看護科学学会学術集会会長として、有森直子氏（新潟大学）が就任された旨、報告があった。
なお、会場に有森直子氏が出席されており、簡単な挨拶があった。

【質疑応答】議長は質問を促したが、特に質問はなかった。

V. 審議事項 理事会への意見

議長は質問を促したが、特に質問はなく、議事は終了した。

VI. 第21回学術論文優秀賞・奨励賞

表彰論文選考委員長の亀井智子理事が学術論文優秀賞2名、学術論文奨励賞2名を紹介した。4名の受賞者より受賞の挨拶があった。受賞論文は以下となる。

【優秀賞】

- ・キタ幸子氏 他

「Impact of intimate partner violence and childhood maltreatment on maternal – infant maltreatment: A longitudinal study」

Japan Journal of Nursing Science (2021) Volume 18, Issue 1(e12353)

- ・阿部麻里氏 他

「Damage to subcutaneous tissue at the catheterization site during chemotherapy: A prospective observational study using ultrasonography」

Japan Journal of Nursing Science (2021) Volume 18, Issue 4(e12356)

【奨励賞】

- ・大槻奈緒子氏 他

「放課後等デイサービスおよび児童発達支援事業所における医療的ケア児受入の関連要因」

日本看護科学会誌 41巻 29-36 2021

- ・園田希氏 他

「乳児との対面接触による妊婦の対児感情と不安への効果: ランダム化比較試験」

日本看護科学会誌 41巻 449-457 2021

VII. 第43回日本看護科学学会学術集会会長 挨拶

第43回学術集会会長田中マキ子氏より、以下の挨拶とプロモーションビデオ放映があった。

学会のテーマは「未来を拓く看護のサイエンス&アーツ：伝統と革新の融合」である。日本看護科学学会が目指している看護のますますの発展を願い「未来を拓く」、そして山口県萩市の出身である日野原重明先生がおっしゃっていた「サイエンス&アート」を使わせていただいた。さらに山口県は明治維新の地ということで「伝統と革新の融合」というテーマにした。山口県下関市で開催する。学術的な発展、史跡、楽しみ、味わい、というところを皆様方に存分に楽しんでいただけるよう企画している。また、対面での開催を予定している。多くのご参加、ご発表をいただければ幸いである。

VIII. 閉 会

司会の法橋副尚宏理事長より、最終的な出席者正会員数は委任状を含めて合計2,181名となり、学会総会が成立していることがあらためて報告された。以上をもって、第42回公益社団法人日本看護科学学会総会が閉会した。

この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人により以上の議事を認め記名押印する。

2023年 2月 17日

議 長 森山 美知子 印

議事録署名人 寺本 千恵 印

議事録署名人 西村 ユミ 印

第42回 公益社団法人 日本看護科学学会 学会総会 優秀論文表彰（優秀賞・奨励賞）議事次第

日 時 2022年12月3日（土）17:15～18:15
場 所 広島国際会議場 フェニックスホール

【議事次第】

- I. 開 会
- II. 理事長挨拶
- III. 議長指名および議事録署名人の承認
- IV. 報告事項
 1. 理事長のビジョンと運営方針
 2. 委員会のミッションと2023年度事業計画について
 3. 2023年度予算について
 4. 名誉会員の就任報告
 5. 第45回日本看護科学学会学術集会会長の就任報告
- V. 審議事項 理事会への意見
- VI. 表彰
- VII. 第43回日本看護科学学会学術集会会長 挨拶
- VIII. 閉 会